

第22回目のGIS News! です

11月も半ばを過ぎ、冬の到来を感じずにはいられない今日この頃です。インフルエンザも流行してきているようですが、「健康管理も仕事のうち」風邪対策を十分に行って、本格的な冬を迎えたいところです。

「デジタルマップフェア 2001」

さて今回は、先月25～26日に東京の某会場で開催されました「デジタルマップフェア 2001」の中から、GISデータ整備に関する国の動向を取上げご紹介していきたいと思えます。

今年で3回目を迎える本フェアは、数値地図・デジタル地図データとその利用ソフトウェアの普及促進を目的としているようで、コンピュータ関連企業、ソフトハウス、地図・測量関連企業、その他メディア産業にかかわる多数の企業・団体等による出展やセミナーが行われ、最先端のデジタルマップ利用技術を目にすることが出来ました。

GIS データ整備に関する国の動き

～ベンダーフォーラム「電子国土とGIS」より～

国が進めている国土空間データ基盤整備も今年で6年目に入り、国土地理院から1/25,000や1/200,000縮尺等といったラスターデータ(画像レベル)で全国をカバーする地図が整備され、インターネットでの公開やCD-ROMなどの媒体を通じ、用意に数値データを入手できる環境になりつつあります。

現在国では、市町村レベルよりさらに詳細な街区レベルでの位置参照情報の整備が着々と進んでおり、今年度末までには完了する予定となっているようです。ただし、国が整備できるのは街区までとなっており、さらに詳細な部分(住居表示等)に関しては個人情報も絡むことから、各地方自治体の整備に注目が集まりそうです。

関係省庁では、住居表示台帳データ化について検討を進めているところであり、多くの面から注目しているところでもあります。

また国では2002年からのアクションプラン作成として、11月頃からインターネットを利用し、国民の意見を幅広く求める計画を立てているようです。こうしたエンドユーザーの意見を基に作成されたデータは、安価な価格で販売され、さらにその先には、インターネット上から無料提供されるような計画も進んでいるようです。

ご存じの方も多いと思いますが、既に国土交通省のホームページでは一部の国土数値情報を無料ダウンロードサービスが開始されています。ご興味のある方はこちらからどうぞ。《<http://www.nla.go.jp/ksj/>》

次回のGIS News!

次回は12月10日発行予定です。よろしくおつき合い下さい!

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 笹原 発行日：2001年11月26日

